

平成26年度 学校関係者評価報告書

大阪市立長吉中学校
学校協議会

1. 総括についての評価

- ・自己評価結果は妥当である。中期目標に基づいた本年度の取り組みは、3つの視点とともに概ね順調に進めることができたと思われる。
- ・各取組内容のうち一部は目標を上回り、さらに充実した内容とすることことができた。特に、「校長経営戦略予算」追加分を活用した特色ある学校づくりに資する生徒が輝く活動の支援や、研修担当（首席）を中心とした「がんばる先生支援」事業を活用した先進的な授業改革に取り組む学校視察と伝達研修、外部講師も招聘した年間7回の授業研修等を生かすことによって、学校の教育活動もレベルアップしたようだ。
- ・一方で、一部、本年度の目標を達成できなかった取り組みもあるが、来年度、一層の充実を図り、中期目標の達成をめざしていただきたい。

2. 年度目標ごとの評価

年度目標：【視点 学力の向上】

- 全教員が年1回以上、指導案を作成した研究授業を行い、生徒自身の学びによって学力を向上させることをめざして、わからないことを自ら発見して表現し、ともに考えともに学び合う授業を創造していく。（学校サポート改革・マネジメント改革関連）
- H24年度とH25年度の全国学力・学習状況調査の解答状況を比較分析し、つまずきを克服する指導を行う。（カリキュラム改革関連）
- H26学校アンケートの「家庭学習をしっかりとしている」の項目で「している・どちらかといえばしている」と答える割合を生徒・保護者ともにH25年度より向上させる。（カリキュラム改革関連）
- H25年度図書室の利用者増加の効果を生かし、学びにつながる読書活動を創造していく。（カリキュラム改革関連）
- ・全教員が指導案を作成して、研究授業と相互授業参観週間を通して授業研究を行った。そのうち、年6回（のべとして11回）は外部講師を招聘した研究授業を行い、その後の授業検討会で「生徒の学び」を中心としたアドバイスをいただいた。10月には広島市にある中学校の公開授業研究会に5名が参加して「生徒の学び」のある授業を参観した。また、「言語活動」を中心とした公開授業と「学びの共同体研究会」、東大阪市立金岡中学校の公開授業にも研修担当者が参加をし、目標を概ね達成していると思われる。
- ・研究授業や授業改善に関する情報を共有化するために「研修通信」を15号発行した。そのような中で、外部講師のアドバイスを参考にして「分かりやすい授業」のために「生徒のつまずき」を分析し、学習課題の設定についての研修が進んでいるところであり、目標を概ね達成していると思われる。
- ・「全国学力・学習状況調査」の国語において、平均正答率は、主として知識を問うA問題が74.3%、主として活用を問うB問題が45.3%でいずれも全国平均の79.4%・75.9%と5ポイント程度、大阪市平均の75.9%・46.3%と1ポイント程度下回っている。ただ昨年度と比較すると5ポイント程度上昇したことになる。「生徒質問紙」によると、「国語が好き」、「国語の授業の内容はよく分かる」と答えている生徒が全国平均を上回っており、目標を概ね達成していると思われる。
- ・数学において平均正答率は、主として知識を問うA問題が63.7%・、主として活用を問うB問題が55.0%で全国平均67.4%・59.8%と5ポイント程度下回っている。しかし大阪市平均と比較すればA問題の大坂市平均の62.5%より1ポイント程度上回っており、B問題は55.2%とわずか0.2ポイント差まで改善している。「生徒質問紙」によると、「数学の授業の内容はよく分かりますか」と答えている生徒が全国平均を大きく上回っている。「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」、「数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか」に関しても全国

平均を若干上回っており、目標を概ね達成していると思われる。

- ・「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」はともに全国平均を3ポイント程度上回っている。「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」では全国平均を8ポイント程度上回っており、目標を概ね達成していると思われる。

年度目標：【視点 道徳心・社会性の育成】

- 学校行事や生徒の主体的な活動も含め、他者への思いやりの心を育てる取組みを一層充実させる。また、昨年度の学校で認知した「いじめ」への粘り強い対応の成果を生かし、「いじめ」および暴力行為の発生件数を昨年度より減少させる。（カリキュラム改革関連）
- 人権尊重の精神と社会性を育成するため、体験的な学習を取り入れた教育を全学年で実施・充実させるとともに、生徒が輝き成就感を得られる自主的・体験的活動を組織し教職員全体で支援する。このことで、生徒アンケート等で「学校は楽しい」など充実感を示す解答を昨年度以上に向上させる。（カリキュラム改革関連）
- 美化活動に積極的に取り組む態度を養うとともに生徒の主体的な環境整備活動を支援し、生徒向け学校アンケート「清掃活動はしっかりとできている」で肯定意見率を向上させる。（カリキュラム改革関連）
- ・春、夏、冬の長期休暇後の3回、被害調査を行った。教育相談も1、2学期に1度ずつ行った。いじめアンケートは合計で5回行った。生徒の実態を把握でき、指導に活かせた。
- ・健全教育に関しては、4月に『生活の確認』に関する全校集会、7月に交通安全教室、3月に避難訓練と3回行った。各学年においては、1年生で携帯教育、2、3年生で薬物乱用防止教育も行えた。
- ・生指連絡は、職員会議後に月1回行い、いじめ防止委員会は各学期末の3回行った。取組評価アンケートも各学期末の3回行い、教職員間で、共通認識を持つことができた。補導件数も昨年度の140件から35件に減少し、目標を概ね上回っていると思われる。
- ・長中ソーランにおいて演舞のフリ決めから構成、チーム分けなどすべて生徒主体で行った。文化祭には技術部による映像編集よって映像作品を上映することができ、学校評価アンケートの「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答は昨年度以上であった。農園活動では例年を上回るサツマイモを収穫することができ、12月に行った収穫祭での薩摩汁はおいしかったとの声を多く聞くことができた。「環境整備・美化活動にしっかりと取り組んでいる」の項目は昨年度、清掃活動に限定していた文言を、より内容面で高いものとしたため、肯定的意見は昨年度を上回ることはできなかつた。しかし、清掃活動におけるアンケートには昨年度以上の肯定的結果を得ることができた。よって、目標を概ね達成していると思われる。
- ・芸術鑑賞において津軽三味線で南中ソーランを演奏してもらい、それに合わせ長中ソーランのダンスリーダーが演舞し、演奏者と演舞者、そして鑑賞者とが一体となり、今までにない芸術鑑賞を行うことができた。学校評価アンケートの「学校での生活は楽しい」の項目はほぼ横ばいの結果であったが、「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目では昨年度以上の回答を得ることができ、目標を概ね達成していると思われる。
- ・1年 一泊移住を6月、校外学習を11月に実施。ともに学年・学級単位の活動と班単位の活動を設け、自主的に協力して活動するように促した。その中で、社会・集団の規律を守る必要があることも指導した。12月には地域清掃を実施し、地域の一員であることの自覚・公共心育成を図った。1月に実施した百人一首大会は伝統文化に親しみながら、集団育成の一助となった。2学期の学校評価アンケートの結果は「学校での生活は楽しい」の肯定的回答は83.4%、「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の肯定的回答は69%、「体育大会や文化祭は満足できた」の肯定的回答は87.7%であった。球技大会は3月に実施予定である。なお、年度初めの予定にはなかったが、車いす体験を2月19日に実施し、相手の立場に立って考えることや、助け合うことの大切さ、具体的な介助の方法などを学んだ。
- ・2年 校外学習を6月と11月に、球技大会を7月に、実施した。6月の校外学習は須磨海浜水族園での班活動での見学や、学級対抗のビーチフラッグ大会を楽しむことができた。11月の校外学習は、みかん狩りを実施した。自然の恵みに感謝しつつ、集団での責任を持った行動を考える場となつた。球技大会では、係生徒による主体的な運営ができるように指導した。2学期の学校評価アンケートの結果は「学校での生活は楽しい」の肯定的回答は79.8%、「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の肯定的回答は62.3%、「体育大会や文化祭は満足できた」の肯定的回答は86.3%であった。1月には百人一首大会を実施、1年生の時よりしょく覚えて取り組む姿勢が見られた。なお、今後も球技大会を3月に実施する予定である。
- ・3年 修学旅行は計画通りに実施。民泊・ラフティングの体験を通して大自然や人との貴重なふれあいを体験できた。また、選択体験として、渓流釣り・マウンテンバイク・カヌー・ツリークライミング・バーモクーン作り・りんごジャム作り・アップルパイ作りを体験。自主的に行動することの楽しさを体験できた。水泳大会は生徒の安全確保が困難であるとの判断から実施していない。球技大会は授業数確保の目途がたつたので3学期末に実施する予定である。2学期の学校評価アンケートの結果は「学校での生活は楽しい」の肯定的回答は80%、「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の肯定的回答は72%、「体育大会や文化祭は満足

できた」の肯定的回答は86%であった。よって、各学年とも目標を概ね達成していると思われる。

- ・日常清掃は定着しており、ほとんどの生徒がまじめに取り組んだ。大清掃も計画通り全員参加で実施され、日ごろは行き届かない場所の清掃も行った。清掃用具や校内備品を雑に取り扱って破損させてしまうなどの事例はほとんどなく、年間を通じて備品は大切に取り扱わっていた。環境委員で当番を決めて、水やりや雑草ぬきなどを自主的に行ったなど、目標を概ね達成していると思われる。

年度目標：【視点 健康・体力の保持増進】

○知・徳・体の調和のとれた人間形成の一環として体育的行事を充実させるとともに、部活動への参加率を一層向上させる。(カリキュラム改革関連)

○H25年度全国体力・運動習慣等調査で課題のある種目の指導を強化し、男女ともに運動能力を一層向上させる。(カリキュラム改革関連)

○健康で楽しい学校生活を自ら作り出す生活態度を養うとともに、定期健康診断の結果による治療勧奨を行い、未治癒率を更に減少させる。(カリキュラム改革関連)

・体育的活動の充実については、体育大会での長中ソーランの取り組みでは、例年より活動時期を1週間早めしたことにより、より充実した取り組みとなった。また、係生徒の役割の整理については、合理化を図ったことにより例年より円滑に行うことができた。2学期に行った学校評価アンケートについては、「体育大会や文化祭は満足できた」の肯定的回答が全学年で86.5%と、目標の達成に至った。3学期に、2年生では車いすハンドボール、アルティメットの2種目で外部指導者を招へいし、体験的学習を行った。外部指導者を招へいすることで、生徒の興味関心が増し、積極的に活動することができた。車いすハンドボール、アルティメットの活動後に行ったアンケートでは、肯定的意見が目標の80%を達成でき、目標を概ね達成していると思われる。

・体育科の授業の充実については2年生では単学級授業による少人数指導を展開してきた。また、1・3年生においてはチームティーチングを行い、生徒の個々の段階に応じた指導を行うことができた。また、体力テストでは、男女ともに前年度以上の数値となった。体力テスト合計点では、男子は大阪市平均を上回り、女子では全国平均を上回ることができた。以上の結果より、次年度以降も、チームティーチングや少人数指導を行い、個々の段階に応じた指導や日々の活動量を確保できるような授業を展開し、体力向上を図り、目標を概ね達成していると思われる。

・健康な生活習慣の確立については、毎月来室統計を作成し、教職員へ保健室利用状況やけがの発生状況を共有、疾病・けが予防を呼びかけた。また、毎月ほけんだよりを発行し情報発信した。特に、けがの来室は142件、医療機関受診件数は4件、昨年度より減少。来室カード情報をもとに、健康課題別（生活習慣・内科・外科・心）の資料を作成し、来室生徒への指導に活用した。健康に対する意識の向上が引き続き課題。個別の健康診断結果一覧を作成し、学期末懇談時、治療勧告書とともに保護者へ配布し、早期治療を促した。1年生は、3学期に歯と口の健康教室を実施した。個別の声掛け、指導が、受診につながる生徒も多くいた。受診率は、昨年度49%から、今年度62%に向上した。治療率の低かった歯科は、歯と口の健康教室後に受診率が上がったなど、目標を概ね達成していると思われる。

3. 今後の学校運営についての意見

- ・学校元気アップ地域本部事業がコーディネーター制に移行することで、地域としても学校教育により協力し、応援していきたい。
- ・学校の広報の方法については、学校ホームページやプリント類、諸会合での発信以外に町会の掲示板を活用するなど一層の工夫をお願いしたい。
- ・校内授業研究会や、公開授業研究会の開催、先進的な中学校への視察等「分かりやすい授業」の研究が進んだとの説明を受けた。学力向上についてはさらなる成果を期待している。
- ・様々な活動を企画・運営するなど、生徒会活動が一層充実してきたとの説明を受けた。また、生活指導上の問題も大幅に減少したとの説明を受けた。引き続き、体罰、いじめ、不登校のない学校づくりをお願いしたい。